

脳内活性化&地域活性化の歴史講座

お 蚕 様 と 日 本 ！

～今日の日本の繁栄はお蚕のお蔭～

幕末の開港以来、欧米列強に追いつき追い越せと様々な文物やシステムを輸入しました。その輸入費用の多くが実はお蚕の貢献によるものだったのです。あの日露戦争の戦費もお蚕が賄った！と言われているくらいです。日本の近代化の大恩人（大恩虫？）と言っても過言ではありません。しかも、貧しかった日本の農家の家計を助けたのもお蚕でした。相模原の地でも養蚕が盛んに行われていました。しかし、残念ながら、化学繊維の登場や安い中国産品に押されて、今や市内には養蚕農家は一軒もありません！だからといってお蚕のことを忘れてよいのでしょうか？

明治以来、皇居内で歴代の皇后陛下が御自ら養蚕をされています。そのお蚕が紡いだ絹糸は正倉院に寄贈されて、貴重な御物の修復に役立っているそうです。講師は平成時代に横浜のシルク博物館において1時間以上にわたり天皇皇后両陛下にご進講された方です。長野県の養蚕農家に生まれ、信州大学繊維学部出身で卒業後は愛知県や神奈川県で養蚕指導に携わった方です。この7月で90歳！今回の講演が文字通り最後の講演になると全力を振り絞って講演に臨まれる覚悟だそうです。今年も猛暑の夏になりそうではありませんが、昔お蚕をされた方、お蚕の恩を忘れていない心ある方、お蚕やシルクに興味のある方は是非ご来聴ください。平成時代の美智子皇后の養蚕の様子を紹介した映画や科学映画も上映する予定です。

記

- 日 時 令和8年7月31日（金） 午後1時30分～4時30分
- 会 場 ユニコムプラザ・セミナールーム2（ポーノ相模大野3階）
- 講 師 小泉 勝夫氏 （元横浜シルク博物館々長）
- 申 込 先着60名 聴講料500円（受付で）
- 申込先 電話 090-4709-5585
- メール letsgo_yamachan@docomo.ne.jp
- 主 催 市民企画さがみはら
- 共 催 相武歴史研究会

脳内活性化 & 地域活性化の文化講座

被爆歌人の激詠短歌！！

～百首を一挙紹介！～

太き骨は先生ならむ
 そのそばに
 ちいさきあたまの骨
 あつまれり

81年前の夏、日本の二都市に、非人道的なトンデモない新型爆弾が投下され、一瞬にして何十万人もの人々が命を奪われ、無残な傷を負い、街は破壊されてしまいました。広島、長崎に落とされた原爆、人類史上初めての最も残酷な兵器の使用でした。たとえどんな戦略的理由があったとしても、このような破壊的な兵器を使用するのは、許されるものではありません！

34歳の時に広島市内で被爆し、救護しながらも見聞きしたリアルな惨状を、まるでカメラで速写するように短歌で表現した歌人の正田篠枝さんの100首。昨年8月6日に広島での平和記念式典で、石破首相（当時）が挨拶の締めくくりに二度繰り返して紹介した短歌で、一躍クローズアップされました。この度、彼女がGHQの検閲の目を逃れて発行したと言われているその歌集「さんげ」を入手できましたので、一挙紹介したいと思います。あまりにもリアルすぎる原爆短歌ではありますが、平和を希求する私たちにとっては、看過できないものではないでしょうか。彼女は原爆の後遺症による乳癌と白血病により、54歳で亡くなっています。当日は、別途、若き特攻隊員の辞世の歌などもご紹介しますので、ご関心のある方は是非ご来聴ください。

記

日 時 令和8年8月9日（日） 午後1時30分～4時30分

会 場 ユニコムプラザ・セミナールーム1（ポーノ相模大野3階）

講 師 山田真也（相模原市民短歌会々長）

申 込 事前申込み先着80名 聴講料500円（当日受付で）

申込先 電話 090-4709-5585【山田】
 メール letsgo_yamachan@docomo.ne.jp

主 催 市民企画さがみはら

共 催 相模原市民短歌会